

# 中期経営計画 (2023年度～2025年度)

## 極めて厳しい今後の当社を取り巻く経営環境

- コロナ禍で最大顧客のJR東日本の業績は急激に悪化～当社の経営に多大な影響  
⇒ポストコロナにおいても、鉄道のお客様のご利用は元には戻らないとの想定
- 少子高齢化の進展により今後生産年齢人口は急激に減少  
⇒当社や協力会社においても、有為の人材確保は今後の懸念事項
- 「働き方改革」への対応も喫緊の課題

## 経営方針

### 1. 安全度の向上と安全の風土づくり

- ・安全3本柱の推進
- ・安全管理体制の確立(「起こしてはいけない事故」撲滅に向けた取組)
- ・安全推進文化の浸透

### 2. コンプライアンスの更なる徹底

- ・重点法令(建設業法、労基法、労安法、廃棄物処理法)の指導強化と遵守状況の点検
- ・自主点検によるリスクマネジメントの充実
- ・コンプライアンス、情報セキュリティ全社員教育による企業倫理の確立
- ・情報セキュリティレベルの更なる向上

### 3. 品質の向上

- ・施工検討会での品質管理強化(品質不良事例を活かした技術教育等)
- ・「土木工事マニュアル」による品質管理体制の充実
- ・線路メンテナンスの質的向上(線路モニタリングの活用)

### 4. 仕事の変革による生産性の向上

- ・施工の機械化、効率化の推進(汎用技術・汎用機械の積極的な導入)
- ・業務改善の推進(好事例の水平展開、ICTの活用)
- ・工事の平準化に向けた取組みの深度化(主体的な作業計画の策定)
- ・技術開発の推進

### 5. 会社の体質強化

- ・的確な業務運営(出張所の業務運営支援、法律改正等への対応)
- ・組織見直し(本社及び各部門)
- ・社内システム構築・整備による効率的な業務体制の構築
- ・事務部門の業務体制見直し(業務の標準化・効率化)
- ・ユニオン変革活動・提案制度の活性化

### 6. 適正な利潤の確保

- ・収支管理の充実と更なる収支の改善(工事利益目標額達成へ)
- ・工事情報の収集強化による受注の確保
- ・工事原価・一般管理費のコストダウン

### 7. 社員の成長と技術力の向上

- ・採用活動の更なる充実(新卒及び中途採用)
- ・日常業務を通じて社員の成長を促す取組み(OJT) / 実効性のある研修
- ・資格取得(1級施工管理技士他)に向けた取組み
- ・社員の成長のための人事交流(社内異動を含む)促進
- ・キャリアプランによる社員の成長支援

### 8. 働きがいのある会社づくり

- ・「働き方改革」の取組み/働きやすい環境の整備
- ・社員の待遇改善/「褒める文化」の定着/職場のメンタルヘルス向上
- ・会社の経営情報等の社員への発信強化と共有化

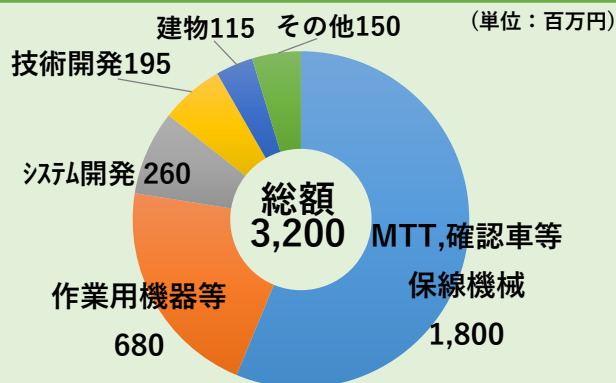
### 9. 協力会社との連携

- ・建設災害防止協会の、線路関係協力会社、土木・建築の主要協力会社との連携強化、建設キャリアアップシステムの定着

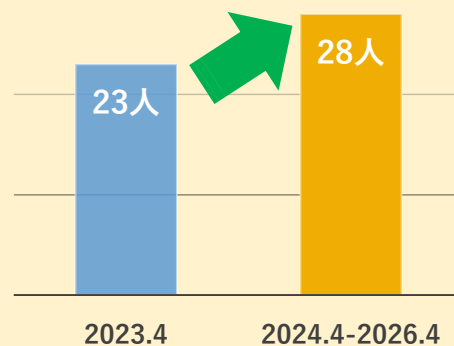
### 10. JR東日本グループ経営への貢献

- ・良質、低コストメンテナンスの追求/グループ内取引の拡大
- ・各種プロジェクト工事の推進/インド高速鉄道事業への参画
- ・ゼロカーボン・チャレンジ2050に基づく取組みの推進

## 設備投資(2023～2025)



## 新規採用計画



## 数値計画(2025年度目標)

安全目標	お客様の死傷事故ゼロ 社員の死亡事故ゼロ 鉄道運転事故ゼロ 触車・感電・墜落事故ゼロ
品質目標	重大な品質不良 ゼロ
完成工事高	415億円
営業利益率	5.5%
コストダウン額	1,380百万円
グループコストダウン貢献率 <small>※コストダウン額/JR完成工事高</small>	3.5%

## 会社の目指すべき姿

